

LINE UP

CONTENTS

- 新年のご挨拶
- ETCクレジットカードの電帳法対応について **経営サポート**
- 変えるきっかけ、未来について考えるきっかけを
一将軍の日について **未来会計推進**
- 補助金に係る消費税及び地方消費税の
仕入控除税額の報告について **医科・歯科**
- ダイレクト納付を始めてみませんか？ **デジタル推進**
- 事業承継の意向確認アンケート（経営者の皆様へ） **相続事業承継**
- 国庫補助金等特別積立金＜積立と取崩について＞ **介護・福祉**



Message

辰年 ～変化し伸びる年に～

謹んで新春のお祝いを申し上げます。旧年中は皆様に大変お世話になりました。

2024年は辰年ですね。辰年は、成長する年、伸びる年、と言われているそうです。この数年間は、コロナ禍によって多くの企業が雌伏の時を過ごしてこられたかと思います。コロナ禍が収束しアフターコロナとなりつつあるタイミングで辰年を迎えるというのは、経済面でも2024年が大きく成長する年になりそうな期待を感じさせます。

辰年は成長・伸長する年と書きましたが、同時に変化の年でもあるそうです。辰年は置いておいたとしても、今年が変化の年となることは十分に考えられます。ご存じのとおり、原材料高騰により物価が高騰しています。人手不足の深刻化により、賃金や採用コストが上昇し、人件費の負担が増しています。「今年が変化の年」というのは、企業はこれらに対応するために変化を強いられるからです。

人件費を含む一般管理費は売上総利益、いわゆる粗利から払います。粗利は売上から原価を引いた残りですが、原価となる原材料も上がっていますので、同じ数を以前と同じ値段で売っても粗利は減ってしまいます。個々の商品の粗利が半分になった場合に、粗利を二倍にするには四倍の数を売らなければなりません。原価上昇分を売値に反映し、値上げするほうが現実的かと思いますが、それもハードルは低いと思います。今の商品に何らかの付加価値をつけるなど、

値上げ交渉をしやすくする工夫も必要かもしれません。それでも値上げが難しいのであれば、その商品でビジネスをすること自体をやめることも考えなければなりません。このような対応を考えると、今の商品ラインナップ、取引先、場合によってはビジネスモデル自体など、多くのことを根本的に見直す必要に迫られる可能性があります。

とはいえ、世の中全体として「値上げやむなし」という雰囲気になっており、値上げ交渉をしやすい環境にあります。人件費増をカバーするためのDX技術や、アウトソーシングのサービスも増えています。コロナ禍のように、対抗することもできずに耐え忍ぶしかない災害とは違います。内田会計グループも一緒に考えますので、変化に対応して成長する辰年にしましょう！

本年も共に頑張っていきましょう！ 2024年もよろしくお祈りいたします。



内田会計グループ 代表
税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス 所長
税理士 内田 佳伯



謹賀新年

内田会計グループ 相談役

税理士 内田 延佳

皆様には幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は大変お世話になりました。

本年もよろしくお願い申し上げます。



2020年から新型コロナウイルスに社会も経済も振り回されましたが昨年後半からやっと普通の生活ができるようになり経済的にもコロナ前に戻りつつあります。ただ昨今は円安と物価高が事業経営の先行きに不安を感じさせます。日本の将来についての大きな課題は、国の借入金(国債)残高が約1千兆円、地方の借入金(地方債)が約2百兆円、合計約1千2百兆円の公的債務があり、国民一人当たり1千万円超の債務を抱えていることです。対GDP(国内総生産)比では260%相当になり世界ワースト1位です。私たちの子供や孫たちに大きな負担を残すこととなります。その他少子高齢化・人口減少も事業経営にとって大きな不安材料であり人手不足感は過去最高レベルです。特に長崎県・長崎市の人口減少は顕著です。

事業経営は経営環境に大きく左右されますので、上記のような日本の現状を考慮すれば、経営者は相当な覚悟を持って経営をしなければなりません。過去の延長線上の経営では成り立たないのです。時流に乗ることも大切ですが時流・流行に乗るものは、時流・流行の終わりとともに滅びます。地方の事業経営は地域密着を徹底させること、そのためには地域の人材を採用すること、独自の差別化戦略を構築することです。地域の人材を採用するに際しては、性別や年齢層に拘らず、あらゆる層の活用を検討されたら良いと思います。公的年金支給時期の関係もあり、健康寿命の伸びもあり、勤労意欲と能力が高い高齢者は多いです。大企業でも高齢者の活用を推進していて、青銀共創(青はヤング=青年、銀はシルバー=銀髪)の呼称で、いかに若手を助けながら一緒になって良い会社を作っていくかを模索し、年齢や経験を超えて対等に話ができる環境、お互いの長所短所を補える関係を構築する努力をしています。性別に関しても、男性にしかできない、女性にしかできない、という固定観念を捨て、試してみることが必要でしょう。新たな発見があるかもしれません。

さらに人手不足への対応策はITの活用や機械による省人化など、相応の設備投資が必要です。設備投資については補助金の対象になるものもあります。内田会計グループでも補助金・支援金申請のお手伝いをさせていただいています。特に管理経理業務の効率化を推進することで、属人的な業務から見える化・共有化・標準化を達成し、付加価値向上も期待できます。自前での対応が困難でしたら弊事務所にご相談ください。貴重な人材は会社の成長に貢献する業務に従事させる等の効率的な人材活用の検討が必要です。

数十年間にわたり低成長が常態化している日本経済です。そういう経営環境下でも経営者は事業の継続のために尽力しなければなりません。事業を継続させ雇用を守り地域経済に貢献することこそ、経営者の最大の責務です。

内田会計グループでは様々な業務の専門家と提携してお客様の経営に貢献したいと考えています。ご遠慮なくご相談ください。

皆様のご多幸を祈念申し上げ新年のあいさつといたします。



令和5年の振り返りと令和6年に向けて

税理士法人 内田会計事務所 長崎オフィス 副所長

税理士 内田 裕二



謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は大変お世話になりました。

昨年は内田会計グループの島原オフィスを島原市から愛野町に移転するとともに、税理士法人の税務部門（経営支援部）の機能を長崎本社に集約し、税務サービスの品質管理の向上を図る組織再編を行いました。移転の際には島原方面の顧問先様にはご迷惑をおかけしましたが、今年はいっそうより良いサービスを提供するように努めてまいります。

さて令和5年を振り返ってみますと、今年も継続して取り組むべき課題ばかりでした。このうちアフターコロナ対策、インボイス対策、事業承継対策の3つについて触れたいと思います。

アフターコロナ対応として昨年は資金支援への取り組みを強化しました。コロナ時に多くの資金調達をしましたが、まだ経営状況が回復していないうちに返済開始時期を迎えることになりました。弊社では借換など融資内容の見直しによって当面の元金返済負担を軽減した実績も多数あり、今年も資金支援を継続していきますのでご相談ください。

インボイス制度への対応としては、制度に関する情報発信や相談対応、セミナー開催、IT導入補助金を活用した会計ソフトの導入支援などの準備に取り組みました。令和5年10月から実際に開始となりましたが、懸念されたように経理事務処理に関する負担が大きくなりそうです。インボイス対応を含めた事務業務全体の負担軽減の必要がありますが、方策としてはデジタルツールの活用が有効です。今年も引き続き事業者様と協力して効率化に取り組んでいきたいと思っております。また、お客様にはインボイス対応に伴う事務コスト増加について顧問料や申告書作成料などの見直しをお願いしていますが、どうぞご理解のほどお願いいたします。

事業承継対策については、昨年「事業承継意向確認アンケート」を配布しました。ぜひご回答をお願いいたします。株式会社については事業承継税制特例措置の適用条件の事業承継計画の提出期限が令和6年3月31日となっています（令和6年税制改正大綱では令和8年3月31日まで2年延長）。実務上では実施運用のハードルが高い税制ですが、株価が高く後継者への事業承継にかかる経済的負担が大きい場合には有効な制度です。また医療法人についても認定医療法人制度によって事業承継対策の道が示されています。弊社は多数の支援実績がありますので医療法人におかれましてもどうぞご相談ください。

今年も考えられる経営課題は多いですが、内田会計グループは各部署・各社員が役割をもって相互協力・連携をし、チームとして「社外重役」として支援をさせていただく所存です。本年もよろしくお願いたします。



株式会社 内田会計事務所
FP事業部 部長

島田 隆

採用・育成と承継

あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

さて昨年末の事になりますが、還暦を迎えた私の次を担う人財の一人として、FP事業部に新たな仲間が加わりました。しっかり育成し、スタッフ一同これまで以上のサービスに努めて参ります。

ところで、日本政策金融公庫総合研究所の2023年3月発表「中小企業の事業承継に関するインターネット調査」によりますと、経営者の高齢化が進みつつも後継者決定企業は10%に過ぎず、廃業予定は57%にも及んでいるという結果が出ていました。後継者移行に関しては育成のために概ね3年以上掛かるというデータもあり、事業承継は深刻な問題となっているようです。



株式会社 内田会計事務所
コンサルティング事業部 部長
税理士法人 内田会計事務所
医業公益部 部長
医業経営コンサルタント

堤 健治

今年の干支

あけましておめでとうございます。旧年中はお世話になりました。
今年の干支は、辰です。過去の辰年ではどのようなことが起こったのか、抜粋してみました。

- <1964年> … 私の生まれた年です。
・アジア初となる東京オリンピックの開業 ・世界初の高速鉄道「東海道新幹線」が開業
- <1988年>
・青函トンネル、東京ドーム、瀬戸大橋など大型建造物の竣工III」の発売
- <2000年>
・2000円札の発行
- <2012年>
・東京スカイツリーの開業
・京都大学の山中伸弥名誉所長・教授がiPS細胞を発見しノーベル生理学・医学賞を受賞

甲と辰が合わさる2024年は、辰年のキーワードである「変革(転機)」や「激動」が示すように、時代が動く年となるそうです。コンサルティング事業部では、医業分野のコンサルティングを通じ、皆様とともに明るい未来に向け歩んでいく所存です。

本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



有限会社 医療福祉評価センター
取締役社長

株式会社 内田会計事務所
ビジネスサポート部 部長
一般社団法人 バックオフィスソリューションズ
ビジネスサポート部 部長
ITコーディネータ

内野 敦史

省力化

あけましておめでとうございます。
2024年もデジタル化が進みます。人口減少は様々なところに影響をもたらしますが、デジタルの活用もその一つで、工夫が生まれ、人間は進化していくと私は考えます。今年のキーワードは、「省力化」です。人手不足に対応するための補助金も出てきますので、検討の際は是非ご相談ください。

Google Bard(対話型AI)に「2024年とはどのような年になるか?」尋ねてみました。

- 仕事運 … 仕事運は、全体的に好調な年になるでしょう。
新しいことにチャレンジするチャンスが増え、大きな成功を収める可能性もあります。
- 恋愛運 … 恋愛運も好調な年になるでしょう。
新しい出会いがあり、恋愛が大きく進展する可能性があります。
- 健康運 … 健康運は、若干の注意が必要になる年です。無理をせず、十分な休息と栄養を心がけましょう。
- 金運 … 金運は、全体的に安定した年になるでしょう。ただし、無駄遣いに注意が必要。

皆様にとって良い一年になりますように! 本年もどうぞよろしくお願いいたします。



税理士法人 内田会計事務所
介護福祉部 部長
株式会社 内田会計事務所
ヘルスケア相談室 室長

入江 暢博



新たなフェーズへ！

あけましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

2024年、介護福祉は技術の進化と人材確保に注力し、高齢化社会においてより質の高いサービスを提供する一年となります。

テクノロジーを活用した個別対応と効率化を進め、働き手の働きやすい環境整備が急務です。

地域社会との連携を深め、信頼と理解を築くことで、共に支え合いながら介護の質を向上させ、未来への橋渡しを目指しましょう。



税理士法人 内田会計事務所
経営支援1部 部長

小峰 茂人



年男

新年となりました。今年もよろしくお願いいたします。

私は辰年生まれなので、今年は年男になります。単純に生まれの干支に当たるときに年男と言っていますが、あらためて考えてみると、年男ってそもそも何なのでしょう。

辞書等で調べると、

- ・年の暮れの大掃除
- ・お正月の飾りつけ
- ・若水(元旦の朝の初めての水)を汲む
- ・節分の豆まき

の行事を取り仕切る人が語源で、家長や長子を指す言葉だったようです。

また、年男には縁起が良いというイメージがありますが、自分の干支が代表となり、神様からのご加護が受けられる、1年間は干支の守護本尊に守られ、物事が成功しやすくなる、ということの様です。 ※辰年の守護本尊は普賢菩薩(ふげんぼさつ)

縁起が良いのであれば、その良い縁を皆様へお分けできるように、今年も尽力させていただきます。



税理士法人 内田会計事務所
経営支援2部 部長

小坂 由美子



柔軟性と洞察力

新春のご挨拶を申し上げます。

昨年も多くのお客様に新たなご縁をいただきまして、心より感謝申し上げます。これからも弊社サービスへのご期待に添えるように、精一杯努めさせていただきます。

2024年辰年のテーマは柔軟性と洞察力。経済の動向が予測困難な中、柔軟性と洞察力で変化に立ち向かいお役に立てるよう邁進してまいります。

同時に職員一同が自己成長できる環境を整え、ともに成長することも今年の大きな目標です。お客様とのコミュニケーションを一層大切にし、信頼関係を深めていくことでより良いサービスを提供したいと考えております。お困りのことがありましたら何なりとご相談ください。

新しい年が皆様にとって幸多き年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
税務相談室 室長

税理士
内田 尚生

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナが5類に引き下げられ、人と物の動きがコロナ以前の水準に戻りつつあるようです。ご当地長崎はここ数年で出島メッセ・市役所新庁舎の完成、西九州新幹線の開通、長崎駅前再開発、今年は旧三菱造船所跡地に民間主導のスタジアム・商業施設が完成予定といわゆる「100年に一度の変革期」と言われていますが、ここから人口流出に歯止めをかけて経済が活性化できるのか正念場を迎えます。

本年も弊社の経営理念である「お客様と地域の発展」に向けて、鋭意努力する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
税務管理室 室長

福田 敏夫

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年辰年「成長の年」と言われています。

ただ、物価の高騰は続き、人手不足は深刻化しています。働き方改革や最低賃金の上昇により既存の人件費も増加していると思われます。経営者の皆様におかれましては厳しい環境となっています。

このような状況の中ですが、皆様が成長の年となるように微力ではございますが少しでもお手伝いできるように努めてまいります。本年も宜しくお願い申し上げます。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
税務管理室 副室長

竹野 博文

コロナが5類に移行し、やっと行動制限のない年始となりました。国内や海外へ旅行する人も以前の95%の水準まで回復する見通しとのこと。大企業だけでなく、長崎の中小企業の景気も良くなってほしいところです。

昨年10月にインボイス制度が開始されて、経理業務にかかわる皆様には大きな負担がかかっておられるかと思えます。制度についての疑問で、度々業務が止ってしまうこともあるようです。弊社担当者にお尋ねいただければ、すぐに解決できることもありますので、お気軽にお問い合わせ下さい。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
サポート課 課長

小西 宏明

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。

財務省によりますと、今年7月前半を目途に、一万円、五千円、千円の3種類の新紙幣が発行されるということです。紙幣のデザインが刷新されるのは2004年以来20年ぶりです。五千円札に描かれている津田梅子は、津田塾大学を創設し「自立した女性の育成」を掲げました。現代の日本においても女性がより活躍できる社会作りが課題となっており、職場においても女性が活躍できるように働きやすい職場環境を整える必要を感じます。本年もよろしくお願い申し上げます。



株式会社 内田会計事務所
資金支援課 課長

古賀 寛

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

2024年の干支である辰年は、陽の気が動いて万物が振動するため、活力が旺盛になり大きく成長し、形がととのう年だと言われています。また、たつ(竜、龍)は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年であるそうです。

皆様が昇り龍の如く躍動の年となり、より一層繁栄するよう資金繰り支援を通じてご支援をさせていただきますので、本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
経営支援1部2課 課長

本村 正登

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様にとって幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

今年の干支は「甲辰(きのえたつ)」です。甲は「甲乙丙丁～」の始まりの1文字であり、物事の始まりを意味します。辰は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができます。

この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する、それまで準備してきたことが形になる大変縁起のよい年になると言われています。

個人としても新しいことに挑戦する1年にしたいと考えています。本年もよろしくお願いいたします。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
経営支援2部4課 課長

西野 孝代

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

今年は辰年。十二支の中で唯一、空想の生き物だそうですが今まで考えてもみませんでした。2024年は甲辰(きのえたつ)で、大きな動きがある年になりそうともいわれています。良い方に大きく動けば嬉しいですし、動かなかったとしても将来の大きな飛躍をイメージして着実に前に進みたいものです。

さて、内田会計事務所では現在「将軍の日」(中期経営計画)や「MAS監査」という目標達成ができる経営体質へと変えるお手伝いのサービスをご案内中です。2024年に、またその先に、より一層の飛躍を目指し一度ご参加いただければ幸いです。



税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス
経営支援2部3課 主任
有限会社医療福祉評価センター
経理コンサル課 課長

藤川 奈穂子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。

昨年10月にインボイス制度開始、今年1月には電子帳簿保存法と経理の大変革時代。天高く昇る力強い龍のよう、エネルギーに幸運を運ぶ年になりますよう、皆様の現場の業務効率化や作業の自動化による経理負担軽減などお役に立てる情報配信ができる1年にしたいと思います。

また、コロナが5類になったことで海外旅行も行きやすくなりました！コツコツ貯めたマイルで旅行を楽しみたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



株式会社 内田会計事務所
IT支援課 課長

東野 宏和

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年はインボイス制度が始まり、2024年からは電子帳簿保存法も始まります。インボイス制度が始まって経理業務が増えたと感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？インボイス制度や電子帳簿保存法の開始に伴う業務については会計ソフト等のITツールを活用することで入力業務等の効率化が見込めます。まだ対応されていない方や、どの様に効率化していいかわからないという方は弊社IT支援課までご相談下さい。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

Articles

ニュース記事一覧

こちらの二次元コードより、最新情報をご確認いただけます。

パソコンからは で検索すると、「お知らせページ」が表示されます。



今月のおすすめ記事



経営サポートグループ

ETC クレジットカードの 電帳法対応について

インボイス制度が始まり、早数か月。インボイス制度導入後の決算申告もはじまり処理に慣れてきた部分と新たな疑問が出てくる時期でもあるかもしれません。以前の記事で …



未来会計推進グループ

変えるきっかけ、未来について考える きっかけを 一将軍の日について

経営者の皆様へ。私たち、未来会計グループが開催している「将軍の日」のご案内です。経営者の皆様が将来に安心して経営を行えるように令和4年9月から毎月「将軍の日」を …



医科歯科グループ

補助金に係る消費税及び地方消費税 の仕入控除税額の報告について

医療機関が、「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止」補助金や、「オンライン資格確認端末導入」補助金など、器械等の購入や経費に対して補助金を受けた場合は、消費税の …



デジタル推進グループ

ダイレクト納付 (e-Tax による口座 振替) を始めてみませんか？

電子納税とは、国税の納付手続を納付書を使わずに、自宅や事務所からパソコンやインターネットバンキングなどを利用して納税を行う仕組みです。電子納税には「ダイレクト納付」と …



相続事業承継グループ

事業承継の意向確認アンケート (経営者の皆様へ)

ある統計によれば、経営者の平均引退年齢は 67～70 歳と言われており、多くの中小企業では事業承継のタイミングを迎えています。中小企業の事業承継を後押しすべく、政府は…



介護福祉グループ

国庫補助金等特別積立金 <積立と取崩について>

社会福祉法人で計上する積立金の中には「国庫補助金等特別積立金」というものがあります。この積立金は施設の建物や設備等の整備(固定資産・消耗器具備品等の取得)のため、 …

内田会計グループのご案内

- 税理士法人 内田会計事務所
- 株式会社 内田会計事務所
- 一般社団法人 バックオフィスソリューションズ
- 有限会社 医療福祉評価センター
- 行政書士内田佳伯事務所

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

 **095-861-2054** (平日 9:00-18:00)

 info@uchida.or.jp  <http://www.uchida.or.jp>

【長崎オフィス】

〒852-8008
長崎県長崎市曙町4番9号
TEL: 095-861-2054
FAX: 095-862-8885

【島原オフィス】

〒854-0302
雲仙市愛野町乙413番地1
TEL: 0957-36-7500
FAX: 0957-36-7501

【福岡オフィス】

〒810-0001
福岡県福岡市中央区
天神2丁目2番12号
T&Jビルディング7F